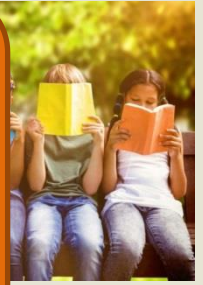


日本  
20

本セミナーは定員に達しましたので  
お申込み受付を終了いたしました

ありがとうございました。



# 問いを立てる

医療福祉現場における問いの立て方  
～文化人類学の視点から～

## 開催趣旨

**ソーシャルワーカーは**、向き合うクライアントのニーズに応えるために問いを発する。その一つの問いからクライアントの人生に触れ、クライアントが生きる未知なる世界をより理解しようと、問いを発し続け、深め、広げていく。過程においてクライアントの語りの意味を考え、相互の関係を築き、限られた時間と資源を駆使して具体的にニーズに応えていく。資源がなければ開発もする。

**文化人類学も**、人や社会を理解するために観察し、問いを立て、情報を集め、考えていく。一見、ソーシャルワークと似たような展開であるが、文化人類学では、その「問いの立て方」「問いの質」は、圧倒的に磨き上げられており、「問いの量」は、凄まじく多い。

今回のセミナーでは、その「問いを立てる」ことを、隣接学問である文化人類学に学び・糧にし、私たちソーシャルワーカーの日常の仕事に取り入れていきたいと考えている。新進気鋭の文化人類学者をお招きし、講義と演習(ソーシャルワークの事例,etc.)を通して、必ずや有意義なセミナーとなることを確信している。

**日時:** 2017年2月25日(土) 11:00~18:00

**講師:** 磯野 真穂 先生 文学博士  
国際医療福祉大学大学院 専門:文化人類学

**会場:** 古石場文化センター【東京都江東区古石場2-13-2】

- 参加費 会員:7000円 非会員:9000円 大学院生:7000円
- 申込み FAXまたは電子メールにて受付(裏面参照)  
2016/12/20から受付開始(定員30名)
- 問い合わせ 日本医療社会福祉学会事務局 jsswh-post@jaswhs.or.jp